



2025年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年9月12日

上場会社名 Japan Eyewear Holdings株式会社 上場取引所 東
コード番号 5889 URL <https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 真也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼管理部長 (氏名) 柴田 俊一 TEL 03 (6411) 0919
半期報告書提出予定日 2024年9月13日 配当支払開始予定日 2024年10月4日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年2月1日～2024年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期中間期	8,300	29.6	2,754	53.5	2,482	56.9	1,677	62.5	1,677	89.2	1,709	60.5
2024年1月期中間期	6,403	25.0	1,794	78.1	1,582	142.9	1,031	264.9	886	532.1	1,065	241.5

	EBITDA※		基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年1月期中間期	3,564	42.0	70.04	68.57
2024年1月期中間期	2,510	49.1	51.82	51.17

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋識別可能資産償却費

(注) 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり中間（当期）利益及び希薄化後1株当たり中間（当期）利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年1月期中間期	36,136	14,545	14,545	40.3
2024年1月期	34,766	13,270	13,270	38.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2025年1月期	—	22.00	—	—	—
2025年1月期（予想）	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年1月期の連結業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,960	10.6	4,300	16.2	3,900	18.3	2,680	13.4	2,680	20.9	111.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) Japan eyewear holdings international. Co., Limited、除外 1社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年1月期中間期	23,944,260株	2024年1月期	23,944,260株
② 期末自己株式数	2025年1月期中間期	1株	2024年1月期	1株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年1月期中間期	23,944,260株	2024年1月期中間期	17,103,833株

(注) 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり中間(当期)利益及び希薄化後1株当たり中間(当期)利益を算定しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当社グループは、国際会計基準を適用しております。
- (2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (3) 2024年9月12日に当社ウェブサイト (<https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>) に決算説明資料を掲載予定です。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2025年1月期第2四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	第2四半期末	合計
1株当たり配当金	22円00銭	22円00銭
配当金総額	526百万円	526百万円

(注) 純資産減少割合 0.028

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約中間連結財政状態計算書	3
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	4
(3) 要約中間連結持分変動計算書	6
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報)	8
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、世界を代表する眼鏡生産地「福井・鯖江」の熟練したクラフトマンシップにより自社で企画・デザインする高品質のアイウェアを製造し、ブランドの世界観を表現した独自の店舗を中心に販売しております。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、日本銀行が金利を引き上げた影響から、持続的に物価と賃金が上昇する環境が整い、さらには、株高による資産効果により個人消費に回復の動きがみられました。一方で、実質賃金はマイナスが続いていることから消費に慎重になる傾向もみられ、引き続き消費の二極化が進行しております。また、外国からの訪日者数は、2024年1月から7月までの累計で過去最速で2,000万人を突破し引き続き順調に推移しております。しかしながら、国際情勢の不安定化等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、「顧客数回復による売上増加」、「フレーム販売価格の見直し」、「国内外における新規出店の推進」を軸として事業展開を継続しており、当社グループの主要ブランドである金子眼鏡、フォーナインズともに国内外のお客様から高い支持をいただいております。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上収益8,300百万円(前年同期比29.6%増)、営業利益2,754百万円(前年同期比53.5%増)、税引前中間利益2,482百万円(前年同期比56.9%増)、中間利益1,677百万円(前年同期比62.5%増)となりました。

当中間連結会計期間における事業セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりであります。

[金子眼鏡]

金子眼鏡グループでは、国内個人消費の回復やインバウンド需要の拡大により、店舗販売が引き続き堅調に推移しています。インバウンド顧客向け店舗販売は2022年10月以降急速に回復し過去最高となる水準を継続しております。また、当中間連結会計期間において新規出店計6店舗(国内5店舗、海外1店舗)、近隣好立地への移転などによる退店3店舗を実施した結果、店舗数は86店舗(国内82店舗、海外4店舗)となりました。2024年4月には、中国・上海において中国2号店となる思南公館店をオープンしました。

以上の結果、金子眼鏡事業の売上収益は5,365百万円(前年同期比32.1%増)、セグメント利益は2,040百万円(前年同期比50.8%増)となりました。

[フォーナインズ]

フォーナインズグループでは、前連結会計年度に続き2024年2月にフレーム販売価格を改定したことに加え、直営店における国内顧客の回復及びインバウンド顧客の増加と相俟って、店舗販売は順調に推移しています。また、当中間連結会計期間において国内新規出店1店舗を実施し、店舗数は16店舗(国内15店舗、海外1店舗)となりました。卸売事業についても、2024年4月に実施した新型商品展示会において国内、海外ともに前期を上回る受注額を獲得しております。さらには、コスト改善にも継続的に取り組んでおり、人件費、広告宣伝費をはじめとした費用支出の見直しを行い、環境変化に対応しやすい経営体質への転換を継続して行っております。

以上の結果、フォーナインズ事業の売上収益は2,934百万円(前年同期比25.3%増)、セグメント利益は943百万円(前年同期比46.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,369百万円増加し、36,136百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が394百万円減少、棚卸資産が176百万円増加、有形固定資産が1,142百万円増加、使用権資産が290百万円増加したことなどによるものです。

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ95百万円増加し、21,590百万円となりました。これは主に、借入金447百万円減少、リース負債(流動)が78百万円増加、リース負債(非流動)が215百万円増加、未払法人所得税が161百万円増加したことなどによるものです。

当中間連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末に比べ1,274百万円増加し、14,545百万円となりました。これは主に、中間利益1,677百万円を計上、配当金454百万円の支払をしたことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月期の連結業績予想につきましては、2024年3月13日に公表した数値から変更はありません。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (2024年7月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,426	4,032
営業債権及びその他の債権	1,150	1,250
棚卸資産	1,497	1,674
その他の流動資産	165	145
流動資産合計	7,240	7,102
非流動資産		
有形固定資産	2,655	3,797
使用権資産	2,688	2,978
のれん	13,899	13,950
商標権	5,897	5,897
その他の無形資産	363	352
その他の金融資産	1,883	1,924
繰延税金資産	116	95
その他の非流動資産	22	35
非流動資産合計	27,526	29,033
資産合計	34,766	36,136
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	428	486
1年内返済予定の長期借入金	950	950
リース負債	1,033	1,112
未払法人所得税	770	932
契約負債	445	368
その他の流動負債	665	767
流動負債合計	4,293	4,616
非流動負債		
借入金	12,772	12,325
リース負債	1,703	1,918
引当金	37	47
繰延税金負債	2,189	2,182
その他の非流動負債	500	500
非流動負債合計	17,202	16,973
負債合計	21,495	21,590
資本		
資本金	900	900
資本剰余金	10,529	10,075
利益剰余金	1,774	3,451
その他の資本の構成要素	66	118
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,270	14,545
資本合計	13,270	14,545
負債及び資本合計	34,766	36,136

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書
(要約中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
売上収益	6,403	8,300
売上原価	1,446	1,766
売上総利益	4,956	6,534
販売費及び一般管理費	3,164	3,792
その他の収益	7	18
その他の費用	4	5
営業利益	1,794	2,754
金融収益	1	2
金融費用	213	274
税引前中間利益	1,582	2,482
法人所得税費用	550	805
中間利益	1,031	1,677
中間利益の帰属		
親会社の所有者	886	1,677
非支配持分	145	—
中間利益	1,031	1,677
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	51.82	70.04
希薄化後1株当たり中間利益(円)	51.17	68.57

(要約中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
中間利益	1,031	1,677
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	—	—
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	33	32
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	33	32
税引後その他の包括利益	33	32
中間包括利益	1,065	1,709
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	916	1,709
非支配持分	148	—
中間包括利益	1,065	1,709

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計	非支配 持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2023年2月1日残高	10	5,086	△443	23	4,676	4,404	9,081
中間利益	—	—	886	—	886	145	1,031
その他の包括利益	—	—	—	30	30	3	33
中間包括利益合計	—	—	886	30	916	148	1,065
企業結合による変動	—	4,553	—	—	4,553	△4,553	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	1	△1	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	4,553	1	△1	4,553	△4,553	—
2023年7月31日残高	10	9,639	444	52	10,146	—	10,146

当中間連結会計期間(自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計	非支配 持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2024年2月1日残高	900	10,529	1,774	66	13,270	—	13,270
中間利益	—	—	1,677	—	1,677	—	1,677
その他の包括利益	—	—	—	32	32	—	32
中間包括利益合計	—	—	1,677	32	1,709	—	1,709
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	△454	—	—	△454	—	△454
新株予約権の失効	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	19	19	—	19
所有者との取引額等合計	—	△454	—	19	△435	—	△435
2024年7月31日残高	900	10,075	3,451	118	14,545	—	14,545

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	1,582	2,482
減価償却費及び償却費	716	810
受取利息及び受取配当金	△1	△2
支払利息	213	274
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△161	△49
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△13	14
棚卸資産の増減額(△は増加)	△80	△106
その他	△5	17
小計	2,250	3,441
利息及び配当金の受取額	1	2
利息の支払額	△184	△146
法人所得税の支払額	△732	△685
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,333	2,612
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△148	△1,073
無形資産の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△146
敷金及び保証金の差入による支出	△67	△54
敷金及び保証金の回収による収入	9	12
資産除去債務の履行による支出	△0	—
その他	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206	△1,262
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	13,375
長期借入金の返済による支出	△475	△13,936
リース負債の返済による支出	△589	△662
配当金の支払額	—	△454
借入関連手数料の支払による支出	—	△100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,064	△1,779
現金及び現金同等物に係る換算差額	41	35
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	103	△394
現金及び現金同等物の期首残高	2,209	4,426
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,312	4,032

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

記載事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会(最高経営意思決定者)が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、主に眼鏡製品を販売しており、2つのブランドカテゴリー(金子眼鏡、フォーナインズ)を中心に事業活動を展開しています。そのうえで、各ブランドの責任者が、ブランドごとに幅広い権限と、売上・利益への責任を持ち、機動的な意思決定を行っていることから、当社のセグメントはブランドを主として「金子眼鏡事業」「フォーナインズ事業」の2つを報告セグメントとしています。

「金子眼鏡事業」は、金子眼鏡ブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

「フォーナインズ事業」は、フォーナインズブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

セグメントの会計処理の方法は、当社グループの会計方針と同じであります。報告セグメントの利益は、要約中間連結損益計算書上の営業利益であります。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	4,062	2,341	6,403	—	6,403
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	4,062	2,341	6,403	—	6,403
セグメント利益	1,353	643	1,996	△201	1,794
金融収益	—	—	—	—	1
金融費用	—	—	—	—	213
税引前中間利益	—	—	—	—	1,582
その他の項目					
減価償却費及び償却費	511	192	704	11	716

(注) セグメント利益の調整額△201百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当中間連結会計期間(自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	5,365	2,934	8,300	—	8,300
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	5,365	2,934	8,300	—	8,300
セグメント利益	2,040	943	2,984	△229	2,754
金融収益	—	—	—	—	2
金融費用	—	—	—	—	274
税引前中間利益	—	—	—	—	2,482
その他の項目					
減価償却費及び償却費	579	218	798	11	810

(注) セグメント利益の調整額△229百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
親会社の所有者に帰属する中間利益(百万円)	886	1,677
中間利益調整額(百万円)	—	—
希薄化後1株当たり中間利益の計算に使用する中間利益 (百万円)	886	1,677
加重平均普通株式数(千株)	17,103	23,944
普通株式増加数		
新株予約権(千株)	216	513
希薄化後の加重平均普通株式数(千株)	17,320	24,457
基本的1株当たり中間利益(円)	51.82	70.04
希薄化後1株当たり中間利益(円)	51.17	68.57

(注) 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり中間利益及び希薄化後1株当たり中間利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。